



研究主題：

eラーニング活用による 学習効果とモチベーション

教授 高橋 由起子 Yukiko TAHAHASHI



研究のキーワード

e-ラーニング 看護教育 クリティカルケア

一言アピール

女性が働くためには家庭・職場の協力が不可欠です。100%の力で働くのではなく、ある時期は60%で合格と思って仕事を続けることが必要と考えています。そして、十分働く時期が来たら、周りである「はた」を「楽」にできるような「はらたく」ができるといいと思っています。

所属：岐阜大学 医学部 看護学科

役職：教授

E-mail : yu-taka@gifu-u.ac.jp

専門分野：クリティカルケア看護 看護教育

経歴

1985年	岐阜県立衛生専門学校 卒業
2000年	岐阜大学 医学部 看護学科 助手
2004年	岐阜大学 大学院 教育研究科 学校教育学専攻 (修士課程) 修了
2016年	岐阜大学 医学部 看護学科 教授

研究の概要

eラーニングによる学習の効果と学習モチベーションについて研究しています。看護師は継続教育、自己教育力が必要な職業です。看護基礎教育でのeラーニングによる学習は、学習の取り組みは良いのですが継続という視点で、モチベーションを維持し続けるのが困難です。学生のうちから学習のためのモチベーションを維持するにはどうすればよいか、継続教育での自己教育力を高めていくための学習環境をどうしていくとよいのかについて研究をしています。

また、岐阜県内のクリティカルケア看護について知識の普及・質の向上を目指して、Gifuクリティカルケア看護情報研究会の活動を行っています。この研究会でクリティカルケア看護についてのトピックの提供、個々の医療機関が抱える課題等情報交換をしつつ、クリティカルケア看護に携わる看護師の質の向上を図るために環境について研究を行っています。

代表論文・著書等

高橋由起子、松田好美、伊藤美智子、他：クリティカルケア看護に関する講演会に参加した看護師の参加動機と興味領域、岐阜看護研究会誌、(7), 11-21, 2015.

高橋由起子、宮川瑞穂、臼井かおり、他：学習支援システムへのアクセス方法の違いによる学習満足の比較、岐阜看護研究会誌、(8), 53-64, 2016.

高橋由起子、宮川瑞穂、臼井かおり、他：テキストマイニングによるドレーン固定疑似体験後の学びのレポート分析、日本医療情報学会看護学術大会論文集、17, 143-146, 2016.

共同研究希望分野

クリティカルケア看護、看護教育、e-ラーニング